

米粉普及促進事業

自治体情報 新潟県胎内市

人口 / 31,814人 標準財政規模 / 9,501百万円

担当課 商工観光課

電話番号 直通 0254-43-6112

実施主体 胎内市

関連ホームページ

事業期間 平成23年度から

関係施策分類 ④

予算関連データ

総事業費：5,400千円

名称	所管	金額(千円)
新・地域再生マネージャー事業助成金	地域総合整備財団	3,600
一般財源	-	1,800

施策のポイント

当市の特産品である米粉と地域の食材を活用した商品を開発し、全国的にも珍しい米粉を使ったご当地グルメを「米粉発祥の地」である当市から全国に発信する。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

本市の特産品の一つである「米粉」については、その生産普及にいち早く取り組んできたが、その一方で米粉を活用した従来の取組は市営施設や単体の事業者による小規模なものに止まっており、米粉を地域活性化の有効なツールとして捉え、全市を挙げた取組みとして展開するまでには至っていないのが現状である。こうした現状を踏まえ、米粉を活用したご当地グルメを企画し、開発された商品の市内飲食店等での提供や全市的な取組の拠点としての旗艦店舗の設置、市外に向けたPR活動など、ご当地グルメとしての事業を展開して地域活性化を図る。

2. 取組の具体的内容

- ・「たいないべえべえ」をはじめとした米粉のご当地グルメを開発して、市内の飲食店、菓子店、旅館、ホテル、商工会、JA、一般市民等で構成する「たいない食のわいわい会議」を中心に「米粉発祥の地」として本市を全国にPRし、誘客の向上を図る。
- ・「たいないべえべえ」等の市内飲食店における展開、米粉を活用した地域活性化の拠点としての「米粉かふえ」の出店を通じて、地域資源としての米粉に対する市民や市内事業者間の意識醸成、共有に取り組み、「米粉発祥の地」としての本市のイメージ強化に取り組む。
- ・米粉を通じた地域活性化を全市的かつ継続的に展開するため、「たいない食のわいわい会議」の機能を強化し、市内事業者や各関係団体との連携を向上する。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- ・市内5店舗以上での「たいないべえべえ」の提供
- ・「米粉かふえ」の常設化、年間売上150万円
- ・「たいない食のわいわい会議」のメンバー拡充、組織内の役割の明確化、人材育成

4. 現在までの実績・成果

- ・市内4店舗での「べえべえ」の提供
- ・「米粉かふえ」が7月1日にオープン、売上額は約50万円/月
- ・「たいない食のわいわい会議」に市内事業者等の新たなメンバーが参加
- ・10月29日、30日に「米粉フェスタ」を開催

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

・市内の飲食店、菓子店等のご当地米粉グルメについての意識、意欲に大きな温度差があり、その調整、解決のために専門アドバイザーを招いて直接交渉にあたった。

6. 今後の課題と展開

- ・体制上の課題

これまで事業を推進するにあたり行政主導で行ってきたが、今後は、市内飲食店や菓子店等が主体的に取り組む必要性があり、その動機付けや体制をどのように構築していくかが課題である。

- ・事業内容における課題

「米粉かふえ」が7月より常設化となったが、現状では国の緊急雇用対策事業等を活用しながら運営している状況であり、自主財源が乏しい中、来年度以降、どのような形で、より自主的な運営へと発展させていくかが課題である。